



申1号 第43回定期大会発言等に基づく申し入れ 第1回団体交渉を開催！ その2

【組合】 設備 21 以降、安全指導や安全担当者については労使議論してきた。事故が多い今こそ、改めて**安全に精通した社員の配置、育成が急務な課題であり**、組織再編によって職場も変化している。**現場への設置を求めろ！**

【会社】 大量退職が昨年度で終了したが、設備・電気でひっ迫しているのは事実。**限られた人材をいかに配置していくかが課題である**。安全のプロやエキスパートなど安全の取り組みの核づくりの育成と、育成を通じた安全意識のすそ野の拡大を主眼として行っている。継続して安全の知識を指導できる人を育成していきたい。

◇**運転中に業務用携帯電話に着電を認め非常停止。当直の運転再開指示で運転再開した事象について**◇

【組合】 盛岡地本と盛岡支社間で団体交渉は行われているが、走行中の乗務員に対する連絡手段は基本的に指令を介して連絡するという点でいいか。

【会社】 **基本は指令からの抑止指示、運転再開指示である**。無線の難聴区間もまだあり、業務用携帯を活用する場合もある。**基本は指令から乗務員である**

確認！

【組合】 原因究明や対策について引き続き行い、広く共有して事故防止に努めていくことが必要。職場への周知掲示の内容が乗務員だけが悪いと受け止められて、感情的になってしまうのではなく、決められたルールをお互いに守り、**職場全体で安全風土をつくり出していくべきだ！**

【会社】 掲示や共有の仕方は箇所によって様々あるが、**原因究明や対策について引き続き行っていく。CS や職場議論で安全風土づくりを意識していきたい**

確認！

◇**命を脅かす事象について**◇

【組合】 夜間作業のミスが続いていることを認識しているのか。CTC から指令室へと組織再編されている。教育をしっかりといただきたい。

【会社】 取扱い誤りが発生している認識はある。**命を守ることが一番である。そのための教育・訓練は行っていく。**

【組合】 安全は JR 東労組としても最重要課題としている。働いていて命を落とすことや過失になることなどを防がないといけない。現場の感覚・視点を労使で埋めていく議論をすることが、私たちの役割と認識している。

【会社】 安全は経営のトッププライオリティであり、原因究明をおこなって予防安全を「グループ安全計画2028」に基づいて行っていく。当事者意識、学ぶ姿勢、謙虚さが大事である。普段から現場とコミュニケーションをとっていき、4M4E 分析手法などで原因究明も行っていく。再発させないということは労使の認識一致している。様々な場で議論することやぶさかではない。

命を守ることが一番大事であることを確認！

2. 「融合と連携」における技術・技能継承の課題を明らかにすること。また、各職場で要員不足により発生している休日出勤の慢性化や、教育・訓練の遅滞等の諸課題を解決すること。

【組合】 必要な要員とは具体的に何か。

【会社】 業務運営や休日、年次有給休暇の取得に育休なども考慮した要員を確保していくことであり、**会社全体としては必要な要員の確保はできている**。

【組合】 職場では要員がひっ迫していると感じている。

【会社】 **エリアや系統によって状況は異なり、アンバランスが顕著になっている。大量退職と採用数の関係もあるため、平準化を図っている**。支社間異動やエリア内でのジョブローテーションなどでの平準化と合わせて、採用増など実施しているところである。

【組合】 平準化はどれくらいできる目途なのか。

【会社】 1~2 年で劇的に変化するとは思っていない。平準化の努力を始めているところである。

会社は平準化を図っていることが判明！ 職場の現状を確認していこう！

※ 第1回団体交渉は、第2項の途中までの議論となりました。引き続き議論を行っていきます。日程が決まり次第お知らせいたします。